

●ごみ収集民間委託の先進自治体へ

【視察先】

吹田市、東大阪市、茨木市

【目的】

構造改革アクションプラン(枚方市の行革プラン)においてごみ収集業務の50%を民間委託化すると定められているが、現状進捗が芳しくない。平成23年度現在は41.3%、平成24年度の見込みも41.3%。技能労務職の人件費が民間の類似職種と比較しても1.5倍であることから民間委託を進めるべきと考えている。また3月11日の東日本大震災以降、災害時の収集体制をどうするかというセーフティネットの議論もある。大阪府内の人口が同規模の自治体で民間委託率が高い自治体に、課題をどのように解決しながら委託を進めてきたのかを調査いたしました。

【内容】

委託の経緯、どのようにすすめられてきたのか、職員団体とはどのように交渉してきたのか、委託数値の目標、直営と民間委託でのコストの差、災害時や委託先のトラブルがあった時にはどのような対応をとるように想定しているか、など。歴史的背景をみると、人口急増時期に、民間委託を始めたその他の自治体と直営の職員を増加させた枚方市という違いがあり、一概に言えない部分もあります。しかし、最近においてコスト比較をし、行財政改革の目的から民間委託を進めている自治体もあります。また、他市においては、民間事業者と災害時や、企業倒産およびストライキなどのような非常時においても業務が継続して行われるよう、協定を結ぶなど対策をされています。枚方市の場合、委託の仕様書に「大規模災害等不測の事態により業務に変更が生じた

場合については、別途協議とする」と書かれています。しかし、別途協議としか記載がなく、災害時の対応についての協定がありません。民間委託推進とともに、災害時も業務継続ができるような体制を提案してまいります。

ごみ職員の給与格差は1.5倍

枚方市職員	民間類似職種
¥6,395,751	¥4,156,100

